

在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所主催

第6回大連日本語人材 育成フォーラム 報告書

2024年12月23日（月）14:00～16:00 実施

主催：在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所

共催：日本貿易振興機構（JETRO）大連事務所

大連日本商工会

中国日本語教学研究会大連分会

目次

●フォーラムの概要	1
-----------	---

●パネルディスカッション結果概要	4
------------------	---

●基調講演資料

テーマ1「第5回フォーラムのフォローアップと当事務所が大連の日本語人材育成において果たすべき役割」	10
---	----

講演者：浜田伸子・在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所所長

テーマ2「日本語人材育成の取組み」	14
-------------------	----

講演者：範業紅・遼寧師範大学外国語学院副院長

祝然・大連外国語大学ソフトウェア学院副院長

テーマ3「日系企業就職市場の動向」	22
-------------------	----

講演者：琴安国・一般社団法人高度外国人材支援中心代表理事
(JETRO 高度外国人材スペシャリスト)

文責：在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所

※1 本報告書における記述は全て発言者個人の意見であり，所属する企業，大学及び団体の見解を代表するものではありません。

※2 本報告書の著作権は在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所に帰属します。

概要

1 日時

2024 年 12 月 23 日（月）14：00～16：00

2 場所

大連スイッシュホテル 7 階会議場

3 主催団体等

主催：在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所（以下、「在大連領事事務所」）

共催：日本貿易振興機構大連事務所（以下、「JETRO 大連」）

大連日本商工会

中国日語教学研究会大連分会

4 テーマ及び目的

テーマ：「日本語人材育成の取組みと日系企業就職市場の動向」

目的：3 年間のコロナ期間を経て、国際社会、また大連を取り巻く環境の大きな変化がある中、「日本語人材育成の取組みと日系企業就職市場の動向」をテーマとし、日系企業への就職を念頭に置いたより実践的な日本語教育に焦点を当てる。第一部の基調講演では大連の日本語人材の現状を改めて確認する。第二部では、今後の大連の日本語人材の在り方について、関係者のパネルディスカッションを通じ、参加者の認識を深めていく機会とする。

5 次第及び内容（以下、使用言語はすべて日本語）

【第一部】基調講演

- 基調講演テーマ1 「第5回フォーラムのフォローアップと当事務所が大連の日本語人材育成において果たすべき役割」

講演者：浜田伸子・在大連領事事務所所長

- 基調講演テーマ2 「日本語人材育成の取組み」

講演者：範業紅・遼寧師範大学外国語学院副院長

祝然・大連外国語大学ソフトウェア学院副院長

●基調講演テーマ3「日系企業就職市場の動向」

講演者：琴安国・一般社団法人高度外国人材支援中心代表理事
(JETRO 高度外国人材スペシャリスト)

【小休憩】 コーヒーブレイク及び交流会

【第二部】 パネルディスカッション「今後必要とされる日本語人材」

ファシリテーター：石井敏愛・SOMPO システムズ大連開発部チーフリーダー

パネラー：日高直行・野村情報技術（大連）有限公司総経理

島津英明・大連好侍食品有限公司総経理

由志慎・大連理工大学日本語学科主任

重岡純・JETRO 大連所長

浜田伸子・在大連領事事務所所長

【閉会挨拶】

中村大智郎・大連日本商工会副会長（三井物産（中国）有限公司東北分公司総経理）

6 全体結果概要

12月23日、当事務所がJETRO大連、大連日本商工会、中国日本語教学研究会大連分会との共催で実施した「2024年度（第6回）日本語人材育成フォーラム」には、大連日本商工会会員企業、当地の日本語教育関係者など約80名が出席した。

「日本語人材育成フォーラム」は、2017年に第1回が開催されて以来、大連の日本語教育関係者と、日本語人材を雇用する日系企業との交流プラットフォームを構築することを趣旨としてきた。

第6回目となる今回のフォーラムでは、日系企業への就職を念頭に置いた、より実践的な日本語教育に焦点を当て、講演とパネルディスカッションを実施。

第一部の講演では、冒頭、浜田伸子・在大連領事事務所所長が、「第5回フォーラムのフォローアップと当事務所が大連の日本語人材育成において果たすべき役割」をテーマに講演を行った。続いて、大連市内の主要大学2校を代表して、範業紅・遼寧師範大学外国語学院副院長及び祝然・大連外国語大学ソフトウェア学院副院長が「日本語人材育成の取り組み」について紹介。最後に、琴安国・一般社団法人高度外国人材支援センター代表理事兼JETRO高度人材スペシャリストが「日本企業就職市場の動向」について説明した。

第一部と第二部との間で行われた交流会では、企業関係者と日本語教育関係者が活発に交流を実施。

第二部のパネルディスカッションでは、今後の大連の日本語人材育成の在り方について、企業の経営管理、企業内での人材育成及び日本語教育に知見を有する石井敏愛・SOMPO システムズ大連開発部チーフリーダーをファシリテーターに迎え、重岡純・JETRO 大連所長、日高直行・野村情報技術（大連）有限公司総経理、島津英明・大連ハウス食品有限公司総経理、由志慎・大連理工大学日本語学科主任及び浜田伸子・在大連領事事務所所長がパネラーとして登壇し、議論を行った。

フォーラムの締めくくりの挨拶として、中村大智郎・大連日本商工会副会長（三井物産（中国）有限公司東北分公司総経理）が登壇し、大連日本商工会としても会員企業と日本語教育機関との接点づくりなどについて取り組むことへの意欲を示した。

当日の参加者からは、「実務的な内容で参考になった」「こうした企業や日本語教育関係者との交流の場を設けていただけるのはありがたい」などの感想が寄せられた。

パネルディスカッション結果概要

1 大連市で日本語人材を育成する意義について

(企業側より回答) 弊社はグループ企業として日本を中心に金融サービス業を営んでいる。アメリカ、欧州、アジア、日本と拠点を持っているが、日本以外は実のところ英語でコミュニケーションを取っている。日本語は日本国内のみで使っており、そういった意味では、日本拠点のバックオフィス業務はほかのエリアでの対応がかえって難しい面がある。そういった状況において、日本語が堪能で実質時差もない大連は有益な都市の1つと考えている。

2 大連の日本語レベルは高く、日本語学部のある学校も多い。何故、大連において日本語教育が盛んであるか。人材育成において他地域と異なる特色について

(大学側より回答) 以下の4点が挙げられる。

(1) 地理的・文化的背景

大連は中国と日本の間の交通の要衝に位置し、歴史的に日本と緊密な経済・文化交流を行ってきた。このような地理的な関係性により、大連の人々は日本語や日本文化に親しんでおり、日本語学習への熱意が高い。

(2) 豊富な日本語教育リソース

大連には、大連外国語大学など、日本語を専攻する大学が多数あり、体系的な日本語教育を提供している。これらの学校は、教育の質が高く、日本語能力の高い人材を多数育成している。また、日本語専攻以外の教員で日本語ができる方もたくさんいる。例えば、大連理工大学を例にして言うと、海外で学位を取った教員の中で、約4割が日本の大学で学位を獲得した教員である。これらの教員が帰国してから、大学において日本語で学生に機械、材料や情報などの専門知識を教えている。つまり大連は、日本語専攻の人材だけでなく、非専攻の日本語人材も数多く擁しており、日本語人材が多様化している。

(3) 雇用市場の需要

大連に日系企業が増えるにつれ、日本語能力に対する需要も高まっている。日本語を習得することで就職能力を大幅に向上させることができるため、学生の日本語学習へのモチベーションにも反映されている。

(4) 政府と社会支援

大連市政府は日本語教育に力を入れており、良好な学習環境と機会を提供している。例えば、キヤノン関連会社と共催し、35年間続いている「キヤノン」杯日本語弁論大会のような日本語に関するイベントやコンクールを開催し、学生の語学力向上のモチベーションを高めている。

3 今後の日系企業の大連での進出・発展動向から見て、どのような日本語人材がより求められていくと考えるか。また、当地大学との間での連携について。

(企業側より回答) 当社は2011年に大連に現在の会社を設立した。当時との決定的な差異は、日本との人件費差があまりなくなってきたこと。その上でなお、大連の日本語を話せる中国人を採用するのはなかなか難しい問題。ITスキル、簿記財務の習熟など実務に直結した能力を身に付けることはもとより、実務的なメンタリティも重要だと思う。中国人の社員が優れているのは、勤勉で且つ自身のキャリア形成に対して物怖じせず、積極的な面。また日本語、英語双方が使える人材は企業にとって有益である。

大学との連携では、大連外国語大学の日本語学科の学生に向けて、日系2社と共に社内インターンシップ制度を実施している。1年を超えるカリキュラムの中で、夏には1か月ほど当社内にて実地研修も行った。コロナ前は職業技術学院の学生向けに長くインターンシップを実施していたが、そちらとの違いは、必ずしも、その後の就職を前提とするなどの雇用確保の側面ではなく、純粹に社会貢献的な趣旨で取り組んでいるという点である。

(JETRO 大連より回答) JETRO 大連では今年8月、中国の日本語学習者、日本語人材に広く呼び掛けて、日本企業への就職に関するウェビナーを開催した。このウェビナーには500名を超える申し込みがあり、日本企業への就職に対する高い関心が示された。この背景としては、やはり足下の中国景気が芳しくないということがある。中国日本商會が実施した直近の景気動向アンケートによると、在中国日系企業の64%が「2024年は前年に比べて景況が悪化している」と回答している。このような情勢から中国内での就職状況は大変厳しいことが伺われる。このウェビナーの参加者に簡単なアンケートを取ったところ、中国国内で日系企業に就職したい人が65%、日本で就職したい人が79%と、いずれも高いが、日本での就職に対する関心がより高い結果がみられた。なお、参加者の99%が今後も日本企業や日系企業での就職をテーマにした人材セミナーに参加したいと回答している。

他方で、日本国内での求人動向はどうかというと、人手不足が顕在化しており、外国人材の採用を希望する企業は多い。JETRO 東京本部は今年10月、日本国内で外国人材の採用を希望する企業の合同説明会を開催し、5日間で約150社が自社で採用したい人材について説明を行った。募集する業種・職種別でみると、製造業で技術職の人材を求める企業が約4割と最も多く、他に建設業の技術職や情報通信業の技術職の需要も多く、全体として

約6割が技術系の職種の求人であった。

中国国内の就職が厳しいために、日本で就職しようとした場合、需要は旺盛なものの、技術職が多く求められている点は留意が必要ではないか。日本語の素養があるという点是有利ではあるものの、言葉の点だけでみれば日本に留学している人の方が、中国の新卒者よりも語学の習得度が高く、日本の生活習慣にも適応している。したがって、日本で就職する外国人材は留学生がより優位にあるといえる。

こうした客観的状況からすると、大連で日本語を学ぶ学生は日本語を活かして就職したいという本気度が問われると思うので、学生生活の中でできる準備は何でも早いうちに意識して取り組むことが重要。大学側は大連の中だけで日本企業への就職を考えていても学生の行先が限定されてしまう状況にあるので、我々JETRO 大連や就職関連機関、日系企業とのネットワークを密にしながら、適材適所に学生を送り出すという発想が重要ではないか。また、大連に所在する日系企業としては、少数の優秀な人材を確保するためにNRI 大連のように大学講座を開設したり、インターンシップを実施するなど、個別に工夫をすることで、地の利を生かした採用が可能になるのではないか。

4 大連の大学としてはどのような日本語人材を育てたいと考えているか。

(大学側より回答) まず、しっかりとした日本語能力と異文化コミュニケーション能力を備えた人材を育成したいと考えている。これらの人材は、日本語が流暢であるだけでなく、日本の文化、経済、ビジネス環境を深く理解していることが、日本企業で働くために必要。また、自分の国を愛する心、国際的な視野、文系と理系が融合した知識構造、高い専門的総合能力と実践的なイノベーション能力を備えた才能を育成し、データ研究の方法と手段を使用して言語現象を発見・分析し、言語および関連分野の問題を解決できる人材を育てている。さらに、学生の健全な人格と社会適応力を重視し、日本語および関連産業で重要な役割を果たすことができるよう、文理融合と国際競争力を兼ね備えた高度で複合的な日本語人材の育成に努めている。

5 企業のニーズに合う人材を育成するためにどのような取組を行っているか。

(大学側より回答) 以下3点の取組を行っている。

(1) カリキュラムの調整

市場や業界のニーズに応じて定期的に更新・調整し、特定の業界に関連する専門知識を加えている。また、人工知能概論などの科目を開設し、AIに関する学習を全面的に受け入れ、日本語学習に活用している。

(2) 実践的な機会

企業と協力して、学生が実際の職場環境で語学と専門的なスキルを練習できるよう、インターンシップと実践拠点を提供している。

(3) 企業講演会とセミナー

企業関係者を学校に招待して講義、講演会、交流活動を開催し、学生が企業文化、業界のダイナミクスとビジネスニーズを理解できるようにしている。

6 多くの大学で日系企業との交流機会を希望する声が聞かれるが、具体的な提案等があるか。

(大学側より回答) 以下の4点を提案する。

(1) 学校と企業の協力プラットフォームの構築

学校と企業の専用協力プラットフォームを構築し、定期的な就職説明会、キャリア開発セミナー、ネットワーキング活動を開催して、学生と企業との直接的な接触を促進する。

(2) 共同研修プログラム

大学と企業が共同で研修コースを開設し、学生が学習の中で、企業が必要とするスキルを習得できるようにする。

(3) 単位交換可能なインターンシッププログラム

学生の総合的な質と国際的なマインドを高めるために、国際的な実務経験を提供できる日系企業のインターンシッププログラムを開設し、たくさんの学生が参加できるよう、単位交換可能なカリキュラムとする。

(4) 情報交換できるネットワークの構築

ウィチャットの大連市日本語教員グループなどを作成、或いは既存のグループを利用して、就職説明会、セミナー、求人などの情報を共有する。

7 多様な日本語人材が、大連市の企業とマッチングしていくための提言について

(企業側より回答) 商工会がプラットフォームになってもいいが、日本国内外の日系企業向けの人材バンクサイトがあると面白い。そこで大連の日本語人材がその特性毎に検索でき、アプローチも可能になると、その人材の厚みが、大連外の日本の人事担当者からも注目されるのではないかな。

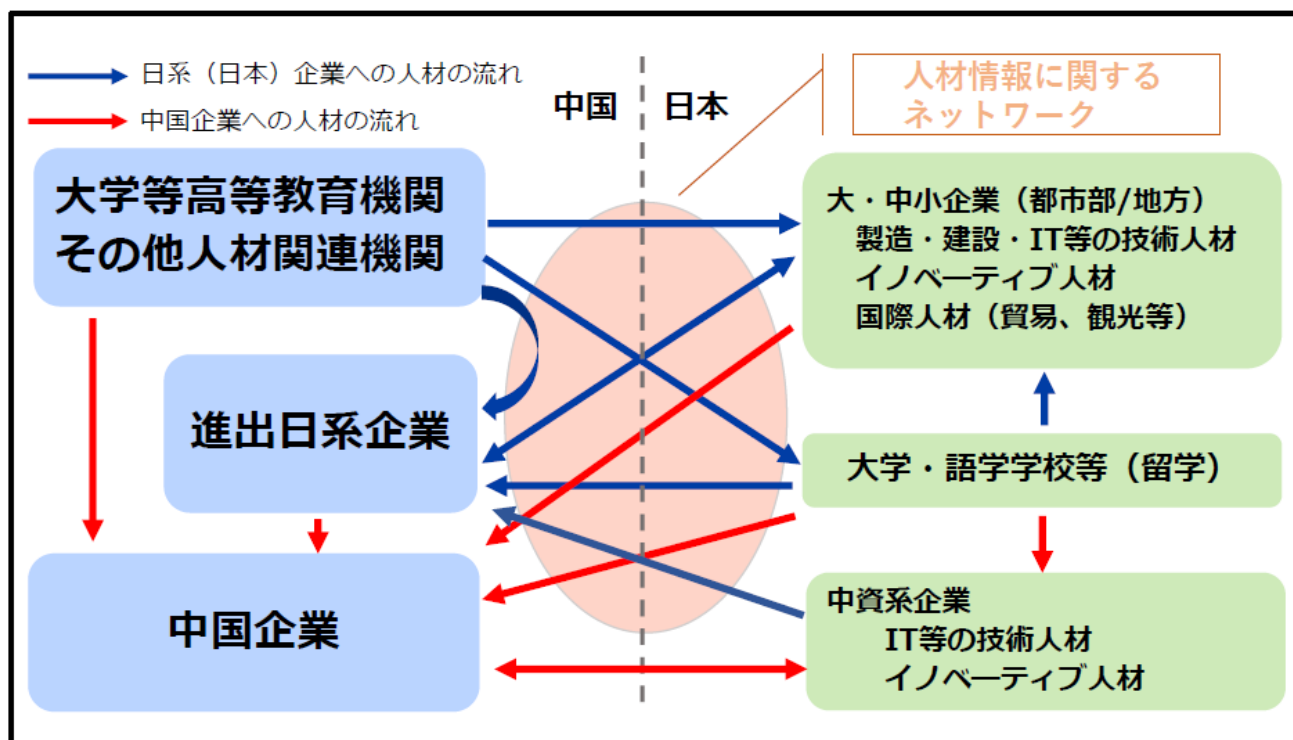
(JETRO 大連より回答) 日本語人材は大連の中だけで閉じるのではなく、企業のグローバル戦略のなかに位置づけることが肝要と考える。人材の流れについて改めて図にまとめてみた(以下図1)。大連と日本で人材が行き来することが、以前に比べて特別なことではなくなっている。ここで重要なことは、日本で留学または就職し、何らかの事情で中国(大連)に戻ってきた人材に対し、しっかりとした処遇が用意されているかどうか、だと考えている。すなわち、日本と大連とを行き来する人材はグローバル人材であって、起用する企業においても日本人駐在員と同様の位置づけ、待遇があってしかるべきということ。

他方、人材の側は日本語の素養は日本企業で働くきっかけとして大事にしつつも、ビジネスで十分な語学力、必要なノウハウはそれぞれの職種、ポジションに就いて経験を重ねていく過程で自分自身の強みにしていく必要がある。

人材を教育し、社会へ送り出す側、人材を採用し、活用していく側、各々がこのようなエコシステムを回していくという共通認識に立って人材に向き合っていけたら良いと考える。日中間で人材が移動する流れを情報としてキャッチし、求人側へその情報を共有することができるようなネットワークを皆さんと共に形成していくことを提案したい。

(図1)

人材の流れ(日中間移動)と日系(日本)企業による人材確保



(大学側より回答) オンラインとオフラインのプラットフォームの構築が求められている。
以下の4点を提案する。

(1) オンラインマッチングプラットフォームの作成

求職者と求人企業からの情報を統合した専用プラットフォームを設置し、日本企業が求人掲載しやすくするとともに、求職者が自身の経歴やスキルに合った求人に直接応募できるようにする。このようなプラットフォームでは、履歴書データベース、求人情報、会社のPRなどの機能を含めて、両者の相互交流を容易にすることができる。

(2) 日本との文化交流活動の開催

日本食の祭典、文化展示会、言語交流会など、日本文化に関連するイベントを定期的に開催し、日本文化に興味を持つ学生や企業を引き付ける。これにより、学生の語学力が向上するだけでなく、日本企業に対する理解と一体感も高まる。

(3) 学校と企業の連携の強化

学校側で、企業が人材育成に参加できるようなカリキュラムの作成（例えば、オーダーメイドの科目設定など）や学校及び企業の共同研修プログラムの開設を実施する。また、学校が企業と協力してインターンシッププログラムを提供し、在学中に実践的な実務経験を積ませ、企業文化に馴染ませる。

(4) 人材モビリティネットワークの確立

日中間の人材の流れを促進するため、情報共有ネットワークを確立する。教育機関、企業、関連組織が協力して、採用情報、市場の動向情報などを収集し、共有する。

(以上)

基調講演資料

基調講演テーマ 1

「第5回フォーラムのフォローアップと
当事務所が大連の日本語人材育成において
果たすべき役割」

講演者：浜田伸子・在大連領事事務所所長

第5回フォーラムのフォローアップ と当事務所が大連での 日本語人材育成に果たすべき役割

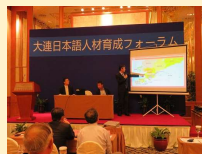
2024年12月23日
大連領事事務所



1

2017年第1回フォーラムの様子

テーマ:「真に社会に求められる日本語人材の育成」



2

2023年第5回フォーラムの振り返り

テーマ:「今後求められる大連日本語人材の育成と確保」



3

前回フォーラムでのアンケート調査

- ・実施期間: 2023年7月10日～7月23日
- ・実施方法: 商工会HP(企業向け)及び
オンライン(大学向け)で実施。
- ・有効回答社数: 103社(企業)、
19校(大学)



4

前回フォーラムのアンケート調査結果①

- ・「必要な日本語人材を確保できている」と回答した企業は
103社中47社(45.6%)。
- ・インターンシップを希望している大学は回答のあった19校中
15校(78.9%)。
- ・企業見学を希望している大学は17校(89.5%)。



5

前回フォーラムのアンケート調査結果②

- ・人材募集方法で、大連市内の大学との間で普段連絡がほとんど取れ
ていないと回答した企業が103社中75社(72.8%)に上った。
- ・大学側のアンケート結果から、「大連の日系企業に対する情報が少な
い(19校中7校(36.8%))」との声も確認された。
- ・→企業側の人材確保、大学側のインターンシップ等実習の需要
はあるが、大学と企業間の交流ができていない現状。
より多くの交流機会の創出が必要。



6

前回フォーラムからのフォローアップ① (大学の就職指導関係者の連絡先の商工会への案内)

2024年10月28日(水) 中国日本語教学研究会大連分会各教育機構担当者リスト

大連市内各教育機構(大学)担当者リストです。
日本語人材の文脈で各大学との連絡をご希望される方がいれば、ぜひぜひ活用いただければ幸いです。
よろしくお願いいたします。

添付ファイル
● (確定版) 大連市内大学担当者リスト2023

大連日本商工会HPより
<https://www.jcci-dalian.org/?p=17559>

7

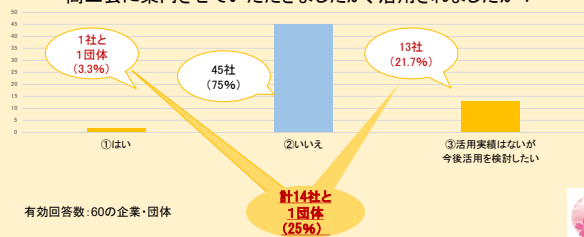
前回フォーラムからのフォローアップ② (アンケートの実施)

- ・実施期間: 2024年10月28日～11月27日
- ・実施方法: 商工会HP等
- ・有効回答社数: 60の企業・団体

8

今回フォーラムのアンケート調査結果①

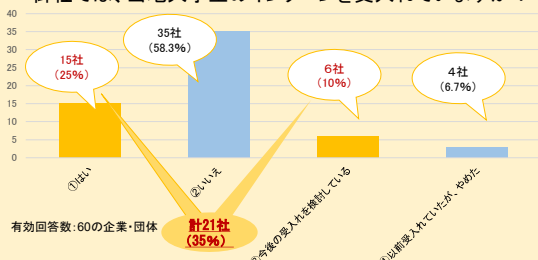
今年3月に当領事事務所から大学の就職指導関係者連絡先を商工会に案内させていただきましたが、活用されましたか？



9

今回フォーラムのアンケート調査結果②

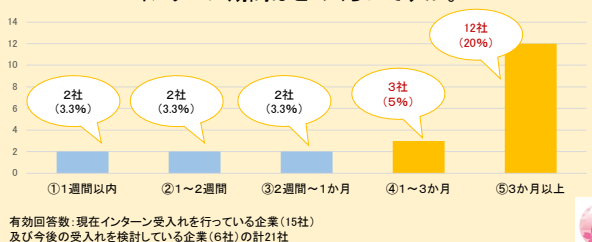
御社では、当地大学生のインターンを受入れていますか？



10

今回フォーラムのアンケート調査結果③

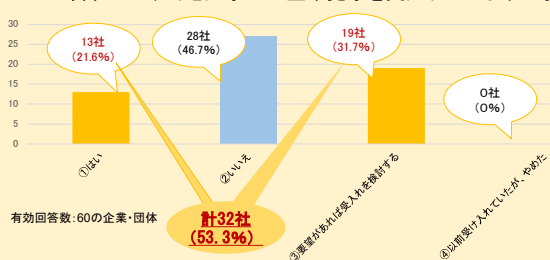
インターン期間はどのくらいですか。



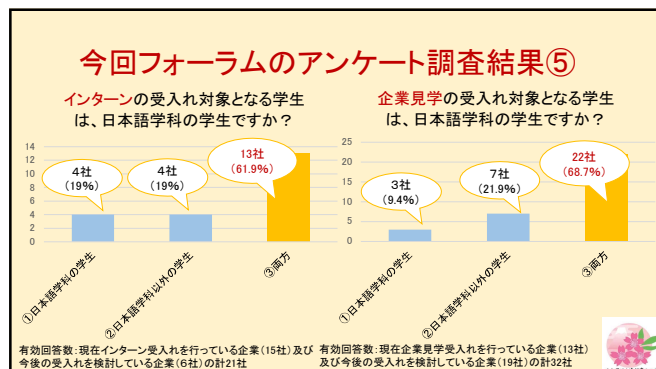
11

今回フォーラムのアンケート調査結果④

御社では、当地大学生の企業見学を受入れていますか。



12



13

今回フォーラムのアンケート調査(まとめ)

- ・60社のうち、インターン受入れに前向きな企業は21社(35%)、企業見学に前向きな企業は32社(53.3%)。(実際の企業数では36社(60%)がどちらか、又は両方の受入れが可能と回答。)
- ・日本語学科以外の人材にも参加の可能性が開かれている。
- ・インターン及び企業見学の受入れが直ちに学生の就職に繋がるという訳ではないことは要留意。

→その上で、どのような日本語人材を育成していくのかについての議論が重要。

14

当領事事務所の果たすべき役割

日系企業・団体と大学との交流の「場」作り

15

ご清聴ありがとうございました。

16

第6回日本語人材育成フォーラム次第①

テーマ：「日本語人材育成の取組みと日系企業就職市場の動向」

【第一部】基調講演(使用言語：日本語)

①第5回フォーラムから現在までの総括
浜田伸子・在大連領事事務所所長

②日本語人材育成の取組み
範業紅・遼寧師範大学外国語学院副院長
祝然・大連外国語大学ソフトウェア学院副院長

③日系企業就職市場の動向
琴安国・一般社団法人高度外国人材支援中心代表理事兼
JETRO高度外国人材スペシャリスト

【小休憩】コーヒーブレイク及び交流会(使用言語：日本語)

17

第6回日本語人材育成フォーラム次第②

【第二部】パネルディスカッション(使用言語：日本語)

テーマ：今後必要とされる日本語人材

ファシリテーター：石井敏愛・SOMPOシステムズ大連開発部チーフリーダー

パネラー：日高直行・野村情報技術(大連)有限公司総経理
島津英明・大連好侍食品有限公司総経理
由志慎・大連理工大学日本語学科主任
重岡純・日本貿易振興機構(JETRO)大連事務所所長
浜田伸子・在大連領事事務所所長

18

基調講演資料

基調講演テーマ 2

「日本語人材育成の取組み」

講演者：範業紅・遼寧師範大学外国語学院副院長

祝然・大連外国語大学ソフトウェア学院副院長



1



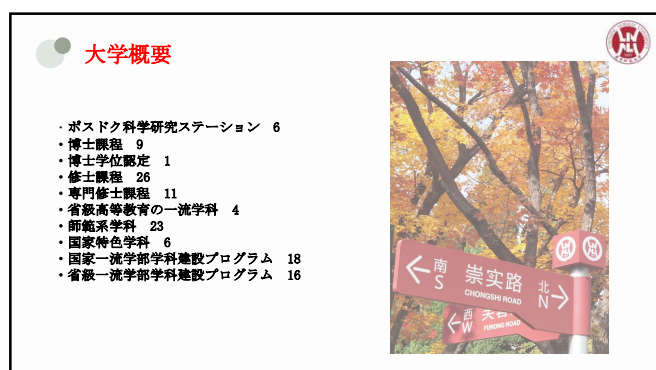
2



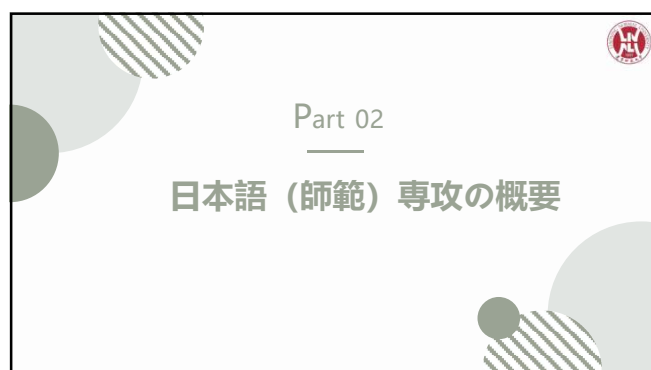
3



4



5



6

日本語（師範）専攻

概況

■1963年8月に設立され、深い歴史的な蓄積を持っている。

■学制は4年、最長修業年限は6年、卒業すると文学士の学位が授与される。

■日本語（師範）の在校生は115人で、年間募集規模は28~30人。

■日本語科の在校生は116人で、年間募集規模は30人。

■二級学科：日本語言語文学(1999) 外国言語学と応用言語学(2000)

■修士学位認定プログラム：翻訳修士（2011）

■遼寧省の優位な特色学科：外国言語学及び応用言語学（2013）

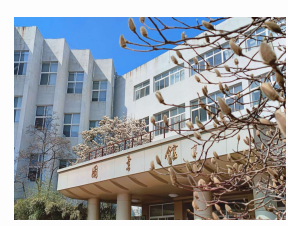
■外国言語文学：教育部全国第4回学科評価（2016）で学科ランキングC+



外国語学院
School of Foreign Languages, LNNU

7

日本語（師範）専攻



教師陣

■専任教師 18人

助教授 9人

修士課程の指導教師 8人

博士学位を持っている教師 10人

■非常勤教師 4人

8

Part 03

新入生の募集状況

9

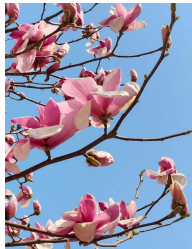
新入生の募集状況

遼寧師範大学 2022 年～2023 年遼寧省合格点数統計表^{※1}

学院	学科	分類	2023年				2022年			
			最高スコア	最高スコア	最低スコア	最低スコア	最高スコア	最高スコア	最低スコア	最低スコア
			スコア	ランキング	スコア	ランキング	スコア	ランキング	スコア	ランキング
外国語学院 ^{※2}	日本語（師範） ^{※2}	歴史 ^{※3}	561 ^{※4}	4011 ^{※5}	545 ^{※6}	5556 ^{※7}	564 ^{※8}	3952 ^{※9}	558 ^{※10}	4661 ^{※11}
		物理 ^{※3}	564 ^{※4}	20750 ^{※5}	518 ^{※6}	36660 ^{※7}	560 ^{※8}	21589 ^{※9}	552 ^{※10}	24424 ^{※11}

10

新入生の募集状況



■遼寧省、安徽省、天津市の3省をカバーし、年間募集人数は約30人。第1志望の採用率が高く、多くの省で100%に達した。

- ・2022年 26人
- ・2023年 26人
- ・2024年 28人

■学生出身地は遼寧省を主とし、遼寧省以外の省の募集人数が少ないため、省外の受験生の採用点数は毎年ある程度の変動があります。

■2021年～2023年まで、本学科の歴史系の合格ラインは本校の他の学科よりそれぞれ11点、33点、43点が高く、物理系の合格ラインはそれぞれ31点、19点、45点より高い。

11

Part 04

育成目標

12



育成目標





日本語教育の中堅教師の育成を目指す

- 高尚な職業道徳
- 先進的な教育理念
- しっかりとした日本語運用能力
- 強い教育教学の実践能力
- 異文化コミュニケーション能力

13



育成目標

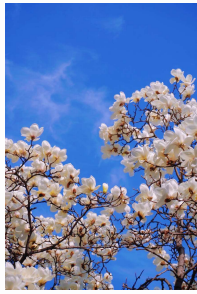


■ 職業素養：
社会主義核心価値観に基づき、確固たる職業理想と強い職業アイデンティティを持つ学生を育成する。

■ 専門技能：
知識と技能の総合的な運用能力、特に現代情報技術と融合する能力や教育モデルリード能力の育成する。

■ 発展潜在力：
自己反省能力、生涯学習能力と革新意識を育成する。

■ 職業競争力：
多ルート多方法を通じて教育レベルを絶えず向上させる自己発展能力を育成する。



14




Part 05

特色と優位性

15



特色と優位性



学科の融合
異なる専門の教師は定期的にセミナーを展開し、自身の学科素養と教育レベルを高める。

教育活動と社会实践の融和
授業・コンテスト活動・社会实践の結合により、实践教学の革新モデルを実現でき、学生の实践能力を増強させる。

複数の授業の融和
総合日本語、日本語会話や日本語読解などの基礎授業を日本文学史、日本概況や日本語教育学などの専門授業と結合するほか、「教育事例分析」「基礎教育改革」「中学校教師の心理学」などの教師養成授業も開講し、学生の総合的素養を育成させる。

協同人材育成メカニズム
大連市第51中学校、大連市第31中学校、大連市第6中学校、大連実験中学校などの学校と共同育成協定を締結し、毎年30名前後の学生が教育基地に入って実習させることで、学生の教育技能と実践能力は明らかに向上させた。



16




Part 06

協同人材育成

17



協同人材育成



瀋陽市、大連市、錦州市、遼陽市、朝陽市、營口市、鉄嶺市など14の地級市、および普蘭店、海城、大石橋などの地方政府と協定を締結し、教育実験区を設立し、人材育成、教師養成、教育研究、基礎教育発展へのサービスなどの面で協力を展開している。



18

協同人材育成

外国語学院日本語（師範）の基礎教育実践基地の状況一覧

番号	学校名	設立時間	過去3年間の自習生数	基地責任者	連絡先
1	大連市第51中学校	2017	30	陳鋒	15998457377
2	大連市第31中学校	2017	13	卢金	18698616608
3	大連市実験中学校	2023	6	于芳	15040516000
4	大連市第6中学校	2023	2	張玉竹	18098847799

大連市の4つの中学校と協定を締結し、学生に安定した教育実践環境、学習指導及び交流プラットフォームを提供しました。

19



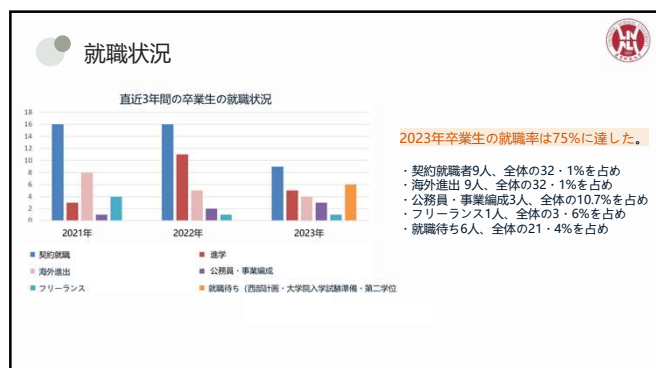
20



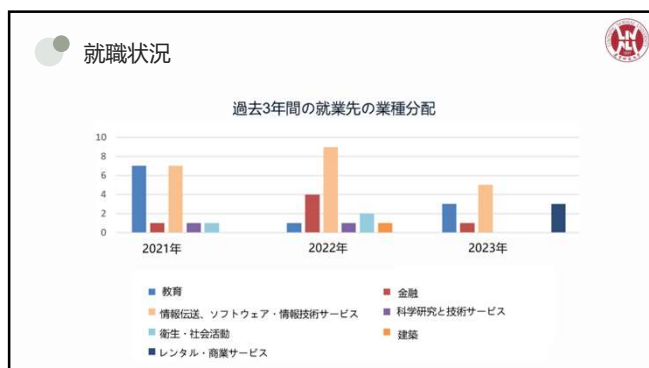
21



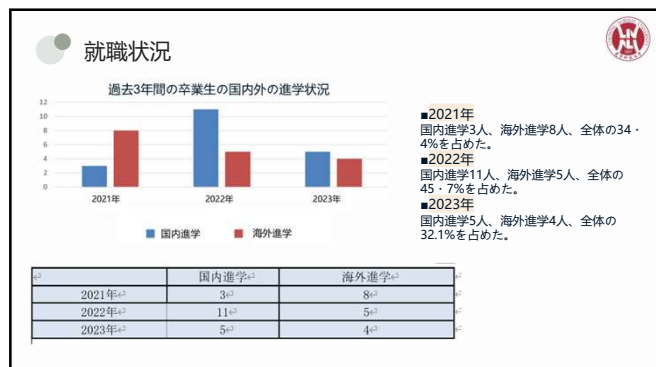
22



23



24



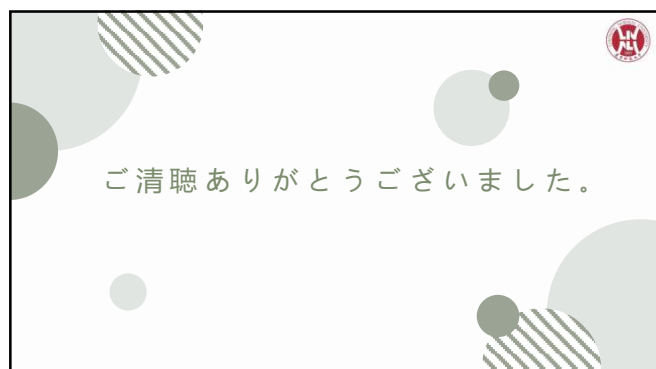
25

就職状況

- 学生の専門的能力の育成を重視し、総合的素養を絶えず向上させる。
- 学生の就職に対する認識を広げ、分類して指導を行う。
- 就職資源の拡大に力を入れ、採用企業と積極的に連携する。

就業指導

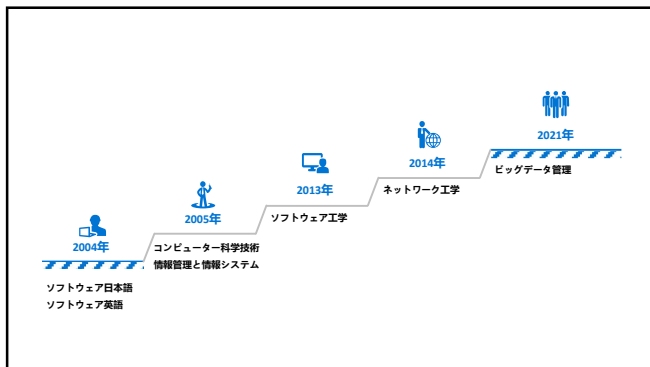
26



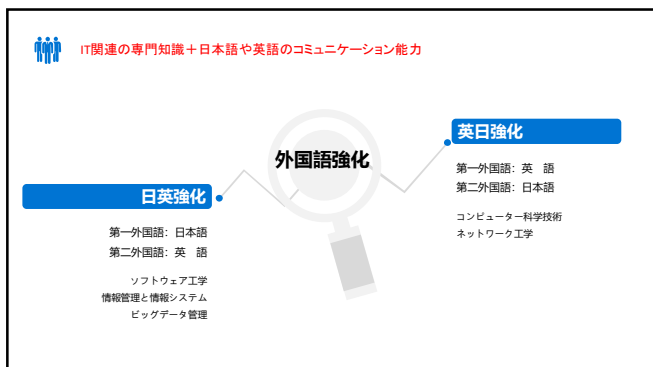
27



1



2



3



4

2023年版カリキュラム

必修	基礎段階	専門段階
基礎日本語1	基礎日本語1	基礎日本語1
基礎日本語2	基礎日本語2	基礎日本語2
基礎日本語3	基礎日本語3	基礎日本語3
基礎日本語4	基礎日本語4	基礎日本語4
基礎日本語5	基礎日本語5	基礎日本語5
基礎日本語6	基礎日本語6	基礎日本語6
基礎日本語7	基礎日本語7	基礎日本語7
基礎日本語8	基礎日本語8	基礎日本語8
基礎日本語9	基礎日本語9	基礎日本語9
基礎日本語10	基礎日本語10	基礎日本語10
基礎日本語11	基礎日本語11	基礎日本語11
基礎日本語12	基礎日本語12	基礎日本語12
基礎日本語13	基礎日本語13	基礎日本語13
基礎日本語14	基礎日本語14	基礎日本語14
基礎日本語15	基礎日本語15	基礎日本語15
基礎日本語16	基礎日本語16	基礎日本語16
基礎日本語17	基礎日本語17	基礎日本語17
基礎日本語18	基礎日本語18	基礎日本語18
基礎日本語19	基礎日本語19	基礎日本語19
基礎日本語20	基礎日本語20	基礎日本語20
基礎日本語21	基礎日本語21	基礎日本語21
基礎日本語22	基礎日本語22	基礎日本語22
基礎日本語23	基礎日本語23	基礎日本語23
基礎日本語24	基礎日本語24	基礎日本語24
基礎日本語25	基礎日本語25	基礎日本語25
基礎日本語26	基礎日本語26	基礎日本語26
基礎日本語27	基礎日本語27	基礎日本語27
基礎日本語28	基礎日本語28	基礎日本語28
基礎日本語29	基礎日本語29	基礎日本語29
基礎日本語30	基礎日本語30	基礎日本語30
基礎日本語31	基礎日本語31	基礎日本語31
基礎日本語32	基礎日本語32	基礎日本語32
基礎日本語33	基礎日本語33	基礎日本語33
基礎日本語34	基礎日本語34	基礎日本語34
基礎日本語35	基礎日本語35	基礎日本語35
基礎日本語36	基礎日本語36	基礎日本語36
基礎日本語37	基礎日本語37	基礎日本語37
基礎日本語38	基礎日本語38	基礎日本語38
基礎日本語39	基礎日本語39	基礎日本語39
基礎日本語40	基礎日本語40	基礎日本語40
基礎日本語41	基礎日本語41	基礎日本語41
基礎日本語42	基礎日本語42	基礎日本語42
基礎日本語43	基礎日本語43	基礎日本語43
基礎日本語44	基礎日本語44	基礎日本語44
基礎日本語45	基礎日本語45	基礎日本語45
基礎日本語46	基礎日本語46	基礎日本語46
基礎日本語47	基礎日本語47	基礎日本語47
基礎日本語48	基礎日本語48	基礎日本語48
基礎日本語49	基礎日本語49	基礎日本語49
基礎日本語50	基礎日本語50	基礎日本語50
基礎日本語51	基礎日本語51	基礎日本語51
基礎日本語52	基礎日本語52	基礎日本語52
基礎日本語53	基礎日本語53	基礎日本語53
基礎日本語54	基礎日本語54	基礎日本語54
基礎日本語55	基礎日本語55	基礎日本語55
基礎日本語56	基礎日本語56	基礎日本語56
基礎日本語57	基礎日本語57	基礎日本語57
基礎日本語58	基礎日本語58	基礎日本語58
基礎日本語59	基礎日本語59	基礎日本語59
基礎日本語60	基礎日本語60	基礎日本語60
基礎日本語61	基礎日本語61	基礎日本語61
基礎日本語62	基礎日本語62	基礎日本語62
基礎日本語63	基礎日本語63	基礎日本語63
基礎日本語64	基礎日本語64	基礎日本語64
基礎日本語65	基礎日本語65	基礎日本語65
基礎日本語66	基礎日本語66	基礎日本語66
基礎日本語67	基礎日本語67	基礎日本語67
基礎日本語68	基礎日本語68	基礎日本語68
基礎日本語69	基礎日本語69	基礎日本語69
基礎日本語70	基礎日本語70	基礎日本語70
基礎日本語71	基礎日本語71	基礎日本語71
基礎日本語72	基礎日本語72	基礎日本語72
基礎日本語73	基礎日本語73	基礎日本語73
基礎日本語74	基礎日本語74	基礎日本語74
基礎日本語75	基礎日本語75	基礎日本語75
基礎日本語76	基礎日本語76	基礎日本語76
基礎日本語77	基礎日本語77	基礎日本語77
基礎日本語78	基礎日本語78	基礎日本語78
基礎日本語79	基礎日本語79	基礎日本語79
基礎日本語80	基礎日本語80	基礎日本語80
基礎日本語81	基礎日本語81	基礎日本語81
基礎日本語82	基礎日本語82	基礎日本語82
基礎日本語83	基礎日本語83	基礎日本語83
基礎日本語84	基礎日本語84	基礎日本語84
基礎日本語85	基礎日本語85	基礎日本語85
基礎日本語86	基礎日本語86	基礎日本語86
基礎日本語87	基礎日本語87	基礎日本語87
基礎日本語88	基礎日本語88	基礎日本語88
基礎日本語89	基礎日本語89	基礎日本語89
基礎日本語90	基礎日本語90	基礎日本語90
基礎日本語91	基礎日本語91	基礎日本語91
基礎日本語92	基礎日本語92	基礎日本語92
基礎日本語93	基礎日本語93	基礎日本語93
基礎日本語94	基礎日本語94	基礎日本語94
基礎日本語95	基礎日本語95	基礎日本語95
基礎日本語96	基礎日本語96	基礎日本語96
基礎日本語97	基礎日本語97	基礎日本語97
基礎日本語98	基礎日本語98	基礎日本語98
基礎日本語99	基礎日本語99	基礎日本語99
基礎日本語100	基礎日本語100	基礎日本語100

5



6

・ 週3回、中国人の先生担当
 ・ 『IT日本語 精読』ソフトウェア学院編
 ・ IT関連内容の導入
 ・ 能力試験の準備

第1課
 1. テキスト
 N3以上のレベル
 すべてのITのソフトをつかもうとするとビル・ゲイツ

2. 単語
 IT関連単語が多数
 IT日本語

3. 内容理解
 テキストの内容に基づく

4. 文型
 テキストに出る文型
 関連文型

5. 練習問題
 テキストに出る単語や文型に基づく
 語彙、選択、読解など

6. 豆知識
 IT知識を広めるため

IT日本語

7

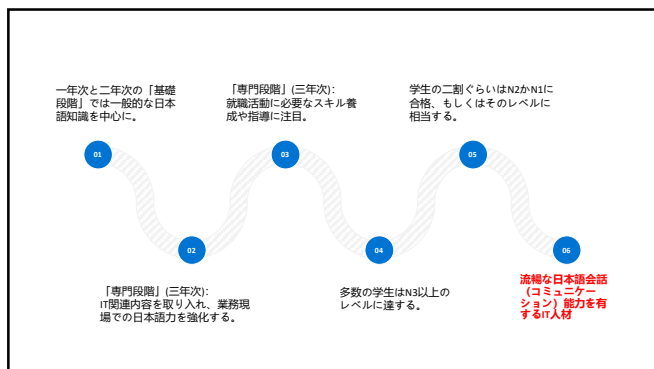
ビジネス日本語
 ・ 週1回、中国人の先生担当
 ・ 『新経典情景商務日本語教程』朴慧淑等編
 ・ 『ビジネス用語』『就職活動』『ビジネスマナー』『接客マナー』『ビジネススキル』等
 ・ 就職活動の事前準備と指導

1. 作成の基本知識
 2. 事前準備
 3. 作成時の基本マナー
 4. 作成のポイント

作成時の基本マナー
 作成時の基本マナー

作成のポイント
 作成のポイント

8



9

企業側のご協力 産学連携

今の問題
 どうやってIT専門をさらに「日本語強化」に結びつけるのか

「IT日本語」はIT文章での「日本語精読」になる傾向であり、実践的な練習が十分行っていない。
 「IT日本語」を担当する先生たちのITスキルが未熟であり、IT企業での現場経験がない。
 学院のIT専攻の先生には日本語がわかる者がいない。
 ソフトウェア学院内部で上記の課題を解決するには非常に困難である。

10

ご清聴
 ありがとうございました。

11

基調講演資料

基調講演テーマ 3

「日系企業就職市場の動向」

講演者：琴安国・一般社団法人高度外国人材支援中心

代表理事（JETRO 高度外国人材スペシャリスト）

一般社団法人
高度外国人材支援センター
Support Center for Highly-Skilled Foreign Professionals

日本企業就職市場の動向

中国と日本

講演者：琴 安国

一般社団法人 高度外国人材支援センター 代表
日本貿易振興機構 高度外国人材スペシャリスト

1

自己紹介

琴 安国 (こと あんこく)

- 生年 - 1977年生
- 出身 - 中国遼寧省鉄嶺市
- 出身大学 - 中国大連 東北財経大学 2001卒業
- 就任経歴 - 2001~2006 留学&仕事
- 仕事経歴 - 2006~2015 欧米企業勤務 (日本向け業務)
- 創業創設 - 2016 卓陽教育科技 (大連) 有限公司 (日本職権輸入向けオンライン研修事業、BPO事業)
- 2018 株式会社WORKS PLAZA (日本法人向け外国人の採用・育成・定着事業)
- 2019 一般社団法人高度外国人材支援センター (日本法人、外国人向け支援活動)

- 資格
 - 日本貿易振興機構 (JETRO) 東京本部 高度外国人材 スペシャリスト (2020年事業設立当初から現在)
 - 中国大学卒業生就職協会 海外就職インターン推進委員会 理事
 - 多数企業の外国人材採用育成定着 顧問
 - 多数日中大学の就職指導顧問、客員講師

一般社団法人
高度外国人材支援センター
Support Center for Highly-Skilled Foreign Professionals

2

本日の内容

- 中国市場
 - 日系企業の求人状況
 - 日本語人材の進路状況
- 日本市場
 - 海外から日本へ就職する高度人材の状況
 - 留学生の日本就職状況
- 日本企業が日本語人材に求めるスキル
 - 文系、理系に求めるスキル
 - AI時代に求めるスキル
- 提言：大学生に必要なスキル育成の環境づくり

一般社団法人
高度外国人材支援センター
Support Center for Highly-Skilled Foreign Professionals

3

中国市場

中国大学卒業生数の変化

年	人数 (万人)	注
2027年	1400	見込み
2025年	1222	予定
2022年	1076	万人、前1000万人突破

2038年まで、卒業人数が毎年1000万人以上を続く見込み。

日本語学部設置大学
507校 (2023年、全国3072校)

データ出所：中国教育部、統計局等

一般社団法人
高度外国人材支援センター
Support Center for Highly-Skilled Foreign Professionals

4

中国市場

中国大学卒業生数の変化

年	人数 (万人)	注
2027年	1400	見込み
2024年	1222	予定
2022年	1076	万人、前1000万人突破

2038年まで、卒業人数が毎年1000万人以上を続く見込み。

日本語学部設置大学
507校 (2023年、全国3072校)

データ出所：中国教育部、統計局等

ある大手人材会社の求人受託件数

2024年第3四半期 (7月~9月) 23%減

2019年第3四半期の求人数を 100 とすると、
2024年第3四半期は 48 まで下がった。

2019年第3四半期以降で最低の水準。

データ出所：上海文才集団人オ管理諮詢

5

中国市場

日本語人材卒業生の進路

年	人数 (万人)	注
2027年	1400	見込み
2024年	1222	予定
2022年	1076	万人、前1000万人突破

2038年まで、卒業人数が毎年1000万人以上を続く見込み。

日本語学部設置大学
507校 (2023年、全国3072校)

データ出所：中国教育部、統計局等

ある大手人材会社の求人受託件数

2024年第3四半期 (7月~9月) 23%減

2019年第3四半期の求人数を 100 とすると、
2024年第3四半期は 48 まで下がった。

2019年第3四半期以降で最低の水準。

データ出所：上海文才集団人オ管理諮詢

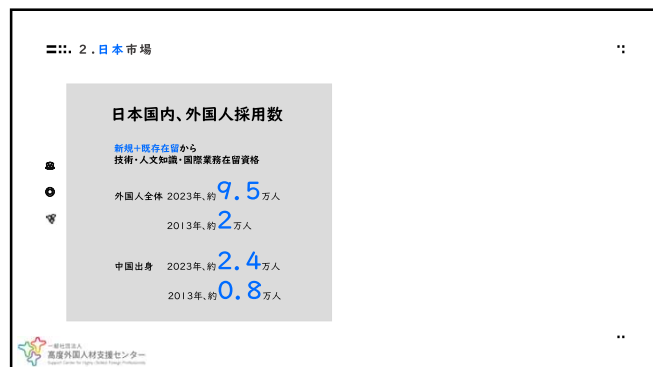
日本語学部生
大学院へ進学
大学院へ進学
日本へ留学
日本へ就職 (サービス業)
主に華南地区へ就職

理系日本語複合人材
日本へ就職
大学院へ進学
日本へ進学
主に華南、華東地区へ就職

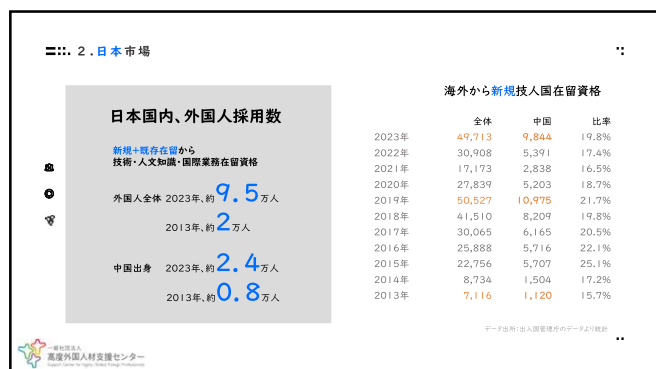
6



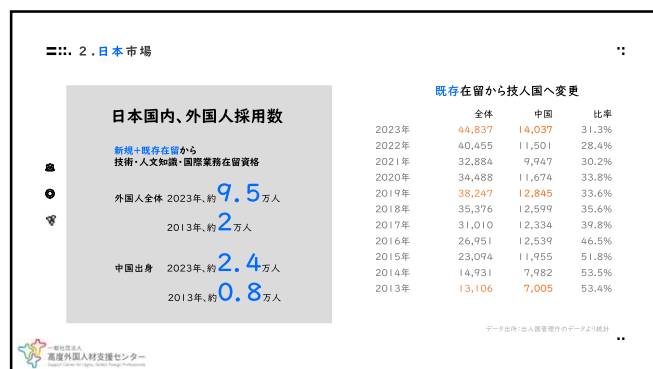
7



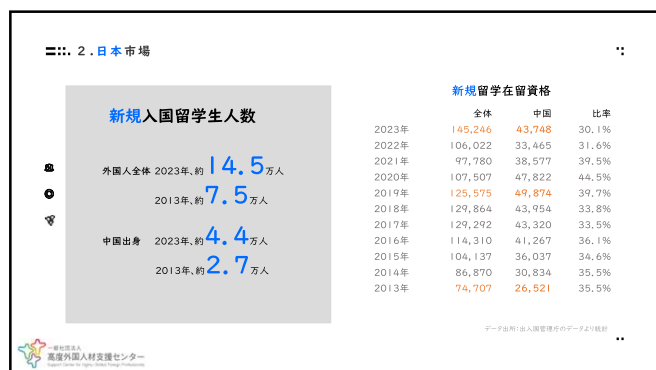
8



9



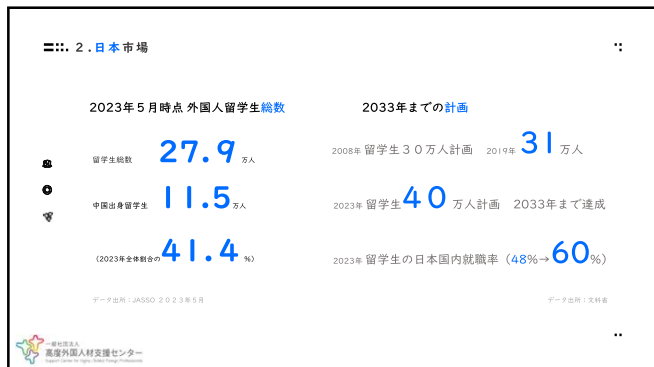
10



11



12



13



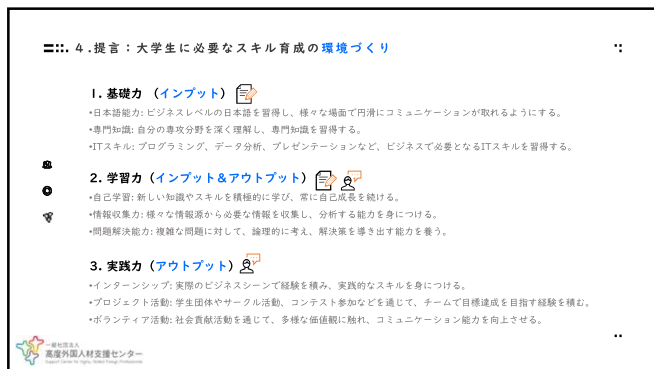
14



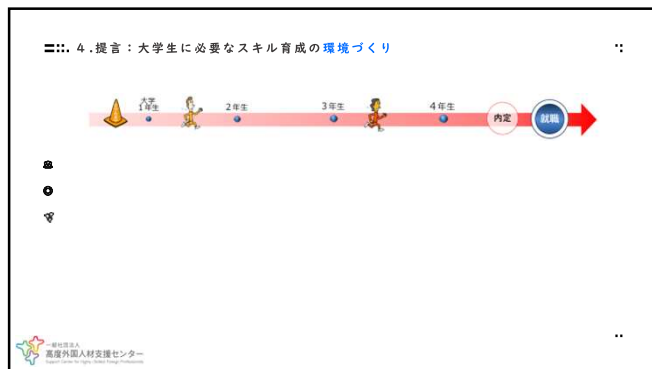
15



16



17



18

